



成田中だより

令和5年10月31日
 成田市立成田中学校
 TEL 0476-22-0304
 生徒数 504名
 文責 濱谷 昌人

〈令和5年度学校教育目標〉『 夢 へ 』

「誰もが夢を持ち、明日も行きたいと思える学校」を生徒とともに目指します！

成田国際文化会館に成中生の魂が響き渡る～3年M学級が最優秀賞！～



◎最優秀賞受賞の3年O組M学級『十字架の島』

◎3年優秀賞受賞の3年O組0学級『信じる』

10月26日(木)、合唱コンクールを開催いたしました。4年ぶりに成田国際文化会館を会場に実施した合唱コンクールは、大変素晴らしいコンクールとなりました。また、全校の保護者の皆様に制限なく招待し開催できたことを本当に嬉しく思っております。保護者の皆様の温かい視線がステージに注がれる中、成中生は精一杯の歌声を響かせることができましたと思います。お忙しい中、学校へ足を運んでくださった保護者の皆様には、心より感謝申し上げます。

合唱コンクールへ向けての本格的な練習が始まった9月から、どのクラスも本当によく頑張ってきたと思います。9月には新型コロナウイルスの感染再拡大やインフルエンザの流行もあり、マスクを推奨せざるを得ない状況でしたが、マスクをしながらも毎日一生懸命歌う姿に皆さんの合唱コンクールへ懸ける強い想いを感じる日々でした。自分達で選んだ曲とはいえ、どのクラスの曲も難しく、納得がいくまで仕上げるのは本当に大変だったと思います。それでも、決して諦めることなく自分達の理想の合唱を目指して熱心に練習を繰り返す皆さんの姿に感心する毎日でした。特に、成田中学校の歌声の伝統をしっかりと後輩達へ繋いでいこうという想いが、3年生の日々の歌声活動から感じることができました。1階のフロアから2階へと響いてくる3年生の本気で歌う歌声、合唱を愛する気持ちは、廊下という空間を通して、いつの間にか1・2年生にも乗り移っていったように感じます。私にとっても、最高に心地良い空間となっていました。

そして、本番ではどのクラスも精一杯の合唱を響かせることができました。成中生の本気で歌う姿に感動しました。成田国際文化会館のホール一杯に渾身の歌声が響き渡った一日となりました。まさしく、スローガンの『共鳴×響命～再び舞台上で響かせて』を達成することのできる一日になったのではないのでしょうか。

当日は、昨年度に続き、県内外でとても有名な音楽家として活躍する佐藤博先生を講師にお招きしました。佐藤先生は、進化し続ける成田中学校の歌声の伝統に驚かされていました。一人ひとりが真剣に歌う姿にとっても感心されていました。そして、日頃の歌声活動の様子が伝わってくるとのことでした。それぞれのクラスの「努力」という過程があつてのステージだということがしっかりと伝わってくるとのことでした。たくさんのお褒めの言葉をいただき、私も大変誇らしかったです。そして、佐藤先生も『最優秀賞』・『優秀賞』を選出するのに大変苦慮されていました。どの学年も大混戦だったようです。そんな中見事に『最優秀賞』に輝いたのは、美しさと迫力を兼ね備えたハーモニーで会場を魅了した3年O組M学級の『十字架の島』でした。そして、『優秀賞』には、3年O組0学級の『信じる』、2年O組N学級の『証』、1年O組A学級の『笑顔を忘れてしまった君に』が選ばれました。おめでとうございます。また、3年O組の皆さんは、成田中学校代表として、11月9日(木)に開催される『二部会音楽発表会』に吹奏楽部と共に参加することとなります。本校合唱コンク

ル会場と同じ「成田国際文化会館」で開催されるので、きっと力を発揮してきてくれることでしょう。『二部会音楽発表会』のステージでも、ぜひM学級にしか出せない美しさと迫力を兼ね備えたハーモニーで、30のメッセージを伝え会場を感動させてきてください。

コンクールですので『賞』はつきましたが、どのクラスも本当に素晴らしい合唱でした。そして、担任の先生にとっては、自分自身のクラスの合唱が、きっと「最優秀賞」だったに違いありません。そのことを、皆さんは忘れないでいてください。

☆成田中学校合唱コンクール表彰☆

【 3 学 年 】

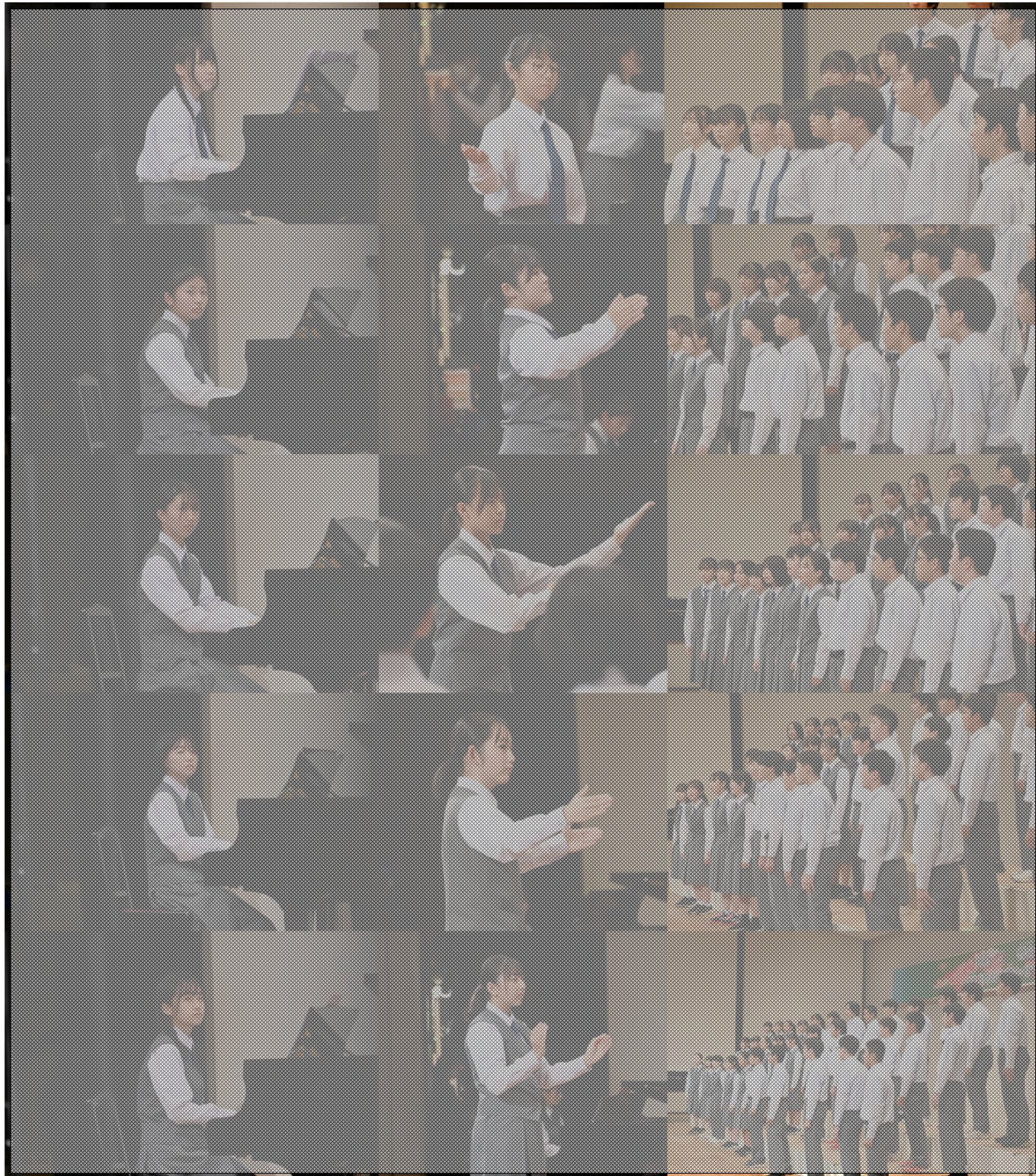
<最 優 秀 賞> 3年〇組 『十字架の島』

< 優秀指揮者賞 > 3年〇組 T.Y. さん

< スローガン賞 > 3年〇組

< 優 秀 賞 > 3年〇組 『信じる』

< 優秀伴奏者賞 > 3年〇組 S.M. さん



【 2 学 年 】

< 優 秀 賞 > 2年〇組 『証』

< 優秀指揮者賞 > 2年〇組 M.R. さん

< 優秀伴奏者賞 > 2年〇組 K.Y. さん



【 1 学 年 】

< 優 秀 賞 > 1年〇組 『笑顔をおぼてしまった君に』

< 優秀指揮者賞 > 1年〇組 O.M. さん

< 優秀伴奏者賞 > 1年〇組 K.S. さん



どのクラスも、『最優秀賞』『優秀賞』を目指して頑張ってきたに違いありません。けれども、もっと大切なのは、結果よりも本番に至るまでの過程だったと思います。だからこそ、合唱コンクールが終わった後の歌声活動を大切にしていってください。合唱は、『学級の絆』の象徴とされています。その通りだと思います。ならば、学級の合唱が最高の作品に仕上がるのは、2・3年生であれば卒業式の日であり、1年生であれば学級解散式（修了式）の日であるべきだと思います。もちろん、今回の合唱コンクールは、それぞれのクラスにとって、一つの節目ですから、現時点での最高のハーモニーを響かせたことでしょう。そして、また、それぞれのクラスが新たな気持ちで歌い続けていってくれることを願っています。これからも、歌声の響き渡る成田中学校であってほしいです。

折り鶴平和使節団報告会 ～M.D.さん(2年)が、平和を訴える！～



2年〇組のM.D.さんが、成田中学校の代表、そして、成田市折り鶴平和使節団の一員として、8月に広島県へ行ってきたことは以前にもお伝えしましたが、10月23日(月)の道德の時間、『平和とは何か』と題して、オンラインで各教室にスライド映像を届けながら、全校の皆さんに折り鶴平和使節団として体験してきたことを報告しました。スライドも原稿も自分自身で作成してきたMさんの発表が素晴らしく、真の平和について考えさせられる内容でした。広島では数々の平和関係の施設や未だに原爆の爪痕(つめあと)が残る場所を訪問し、戦争の恐ろしさや平和の尊さを学んできたというMさんが、熱心に平和への願いを成中生に訴えている姿が印象的でした。そして、Mさんは最後に「一番伝えたいことは、今ある平和は昔の人のお陰と言うことです。今ある平和は当たり前ではないということを実感していただけたなら嬉しいです。今では被爆者の平均年齢は85歳になります。ということは、僕達が後世へと伝えていかなければ、この過ちをまた繰り返してしまうかもしれません。」と訴え、身近な人へと伝えていってほしいと成中の仲間達に投げかけていました。広島で多くのことを学んできたMさんから、平和への強い願いが成中生の心に響いた報告会となりました。

ありがとう、先輩！ ～教育実習を終えて、後輩達へメッセージ～



9月に入り、皆さんの先輩で将来教師を志しているB.Y.先生が、2度目の教育実習生として再び母校に帰ってきました。1学期は保健体育科の教員の資格を取得するための実習でしたが、2学期は養護教諭の資格を取得するための実習でした。1学期に引き続き、実習生として一生懸命頑張るB先生の姿が印象的でした。保健室でも、教室でも、そして、部活動でも、後輩の成中生の皆さんにさわやかに声を掛け、優しい笑顔で接していましたね。そんなB先生から、2度目の教育実習を終え、1学期に引き続き後輩の成中生の皆さんへメッセージをいただきました。

教育実習生 B.Y. 先生 保健室(養護教諭実習) 陸上競技部

成田中学校の皆さん、こんにちは！教育実習でお世話になりました、B.Y.です。

皆さんからは、本当に多くのことを学ばせていただきました。私の大学生活は半分以上新型コロナウイルスの影響により自宅での勉強だったため、実習に来させていただく前は将来に対して不安を抱いていました。ですが、実習で先生方の熱心なご指導や、成田中学校の皆さんの輝く姿をみて、心から学校の先生になりたいと思えるようになりました。きっと小学生、中学生の初めごろにコロナウイルスでの自粛期間を経験された皆さんも、不安なことや悩み事が多いのではないのでしょうか。そんな時は、誰かに頼ったり、新しいことにチャレンジしてみたりして、ぜひ自分の好きな事を増やして行ってください。

本当に素敵な2か月間をありがとうございました。

